

楽しさが
溢れる場所に
人は、あつまる。



JOIN US IBARAKI

IBARAKI PLAYERS BOOK 2022 IBARAKI

発行 : 茨城県政策企画部計画推進課
編集 : 茨城移住計画、株式会社カゼグミ
デザイン : 株式会社カゼグミ
協力 : STAND IBARAKI参加者・関係者

問い合わせ
いばらき移住・二地域居住推進協議会
茨城県 政策企画部 計画推進課 移住推進G
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6
TEL 029-301-2536

HOW TO

目次

- P2 LOCAL PLAYER BOOKについて
- P3 茨城の移動の距離感
- P4 STAND IBARAKIプログラム概要
- P5 STAND IBARAKIの成果
- P6 STAND IBARAKI 2022 MVP3組
- P7 PLAYERとのつながり方
- P8 STAND IBARAKI 2022 PLAYER
- P10 STAND IBARAKI 2021 PLAYER
- P11 STAND IBARAKI 2020 PLAYER
- P12 PROJECT 全体像 2022
- P14 関係人口プロジェクトの歴史

LOCAL PLAYER BOOK IBARAKI とは？

茨城をもっと面白くしたい！地域への関わりしろをつくりたい！と思い活動している茨城県内プレイヤーを紹介する冊子です。このBOOKをもって、人を目的地にするでもいいし、あなたのメインの目的地の「次に行く場所選び」に活用してください。いつもと違った茨城との関わり方が見つかるかもしれません。

BOOKの見方

P6～STAND IBARAKIプロジェクトオーナー紹介

①



② 横地 綾人

③ 潮来市

④ LOC SUP ITAKO

⑤ アウトドア／イベント

⑥ 東京都出身。コンサルタント。潮来市で暮らし、高速バスで都内の企業に通う。その距離往復200km。東京だけの人間で暮らしたくない。地域プレイヤーとして潮来を盛り上げたい。そんな想いを抱きプログラムに参加。

⑦ <https://loc-sup.com/>

⑧

①写真

②名前

③エリア

④プロジェクト名

⑤キーワード

⑥紹介説明文

⑦URL

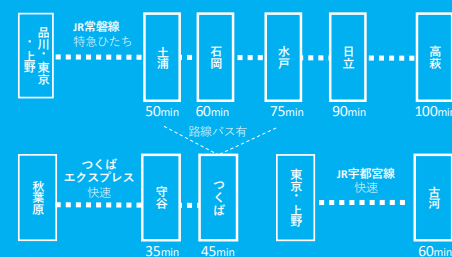
⑧QRコード

※スマートフォン片手に調べてみよう！

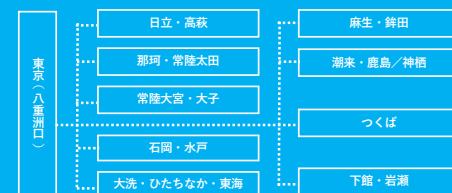
※この冊子は、茨城県の移住促進・関係人口創出事業である「つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト」2020～2022年度のSTAND IBARAKIを中心に編集しています。



電車



高速バス



5つのエリアにわかれる茨城県

県北 KENPOKU

アートや食・農業のプロジェクトが盛ん。県北ロングトレイルや電神峡・袋田の滝など、四季を楽しめる自然豊かなエリア。

大子町、高萩市、北茨城市、常陸太田市
常陸大宮市、日立市

県央 KENOU

海、里山へのアクセスがよく、イベントも盛んに行われる。県庁所在地がある水戸を中心に、茨城の観光・商業を担うエリア。

水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市
小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村

鹿行 ROKKOU

水路や湖など親水エリアが多いことが特徴。食を支える農業エリアとスポーツで活性化を図るエリア。

鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南 KENNAN

研究学園都市としての機能だけでなく、筑波山など自然と近く、東京圏にも近い便利なエリア。

土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市
つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市
つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町

県西 KENSEI

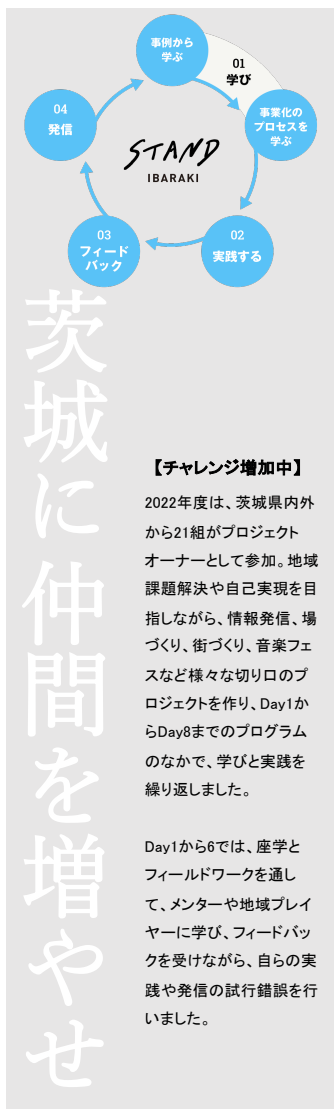
城下町の街並みが残るゆるやかな雰囲気。大規模農業や石切場、織物など伝統的産業が残るエリア。

古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、桜川市、坂東市、五霞町、埴町、八千代町

STAND IBARAKI

<https://standibaraki.jp/>

「自らが設定したプロジェクト」のプロトタイプを実践する約半年間のプログラム



「ローカル」で実践する際に必要な「地域のキーパーソン」とのつながりを得たり、「事業の作り方」を学んだりしつつ、県内外の先輩プレイヤーからのサポートを受けながら実践できるのが特徴です。

Entry
募集期間：6/17(金)～7/18(月)



9月

2022 Program

Day 1
オリエンテーション
全体プログラムの流れ
／自己紹介／先行地域のフィールドワーク
／メンター紹介ミニ講座
／地域コーディネーターとは／交流会

+フィールドワーク
(2日間@ひたちなか・大洗)
・9/3(土) 13:00～17:00
・9/4(日) 9:00～15:00



10月

Day 2・3・4
持続可能なPJの作り方を学ぶ基礎講座
・9/14(水) 19:30～21:30
「ビジョン・ミッション・コンセプトの作り方」
・9/28(水) 19:30～21:30
「企画化・チームビルディング」
・10/12(水) 19:30～21:30
「発信・マーケティング」



11月

Day 5
中間発表会
・11/12(土) 13:00～17:00
参加者によるプレゼンテーション
／フィードバック

Day 6
STAND TOKYOコラボイベント
・12/7(水) 19:00～21:00



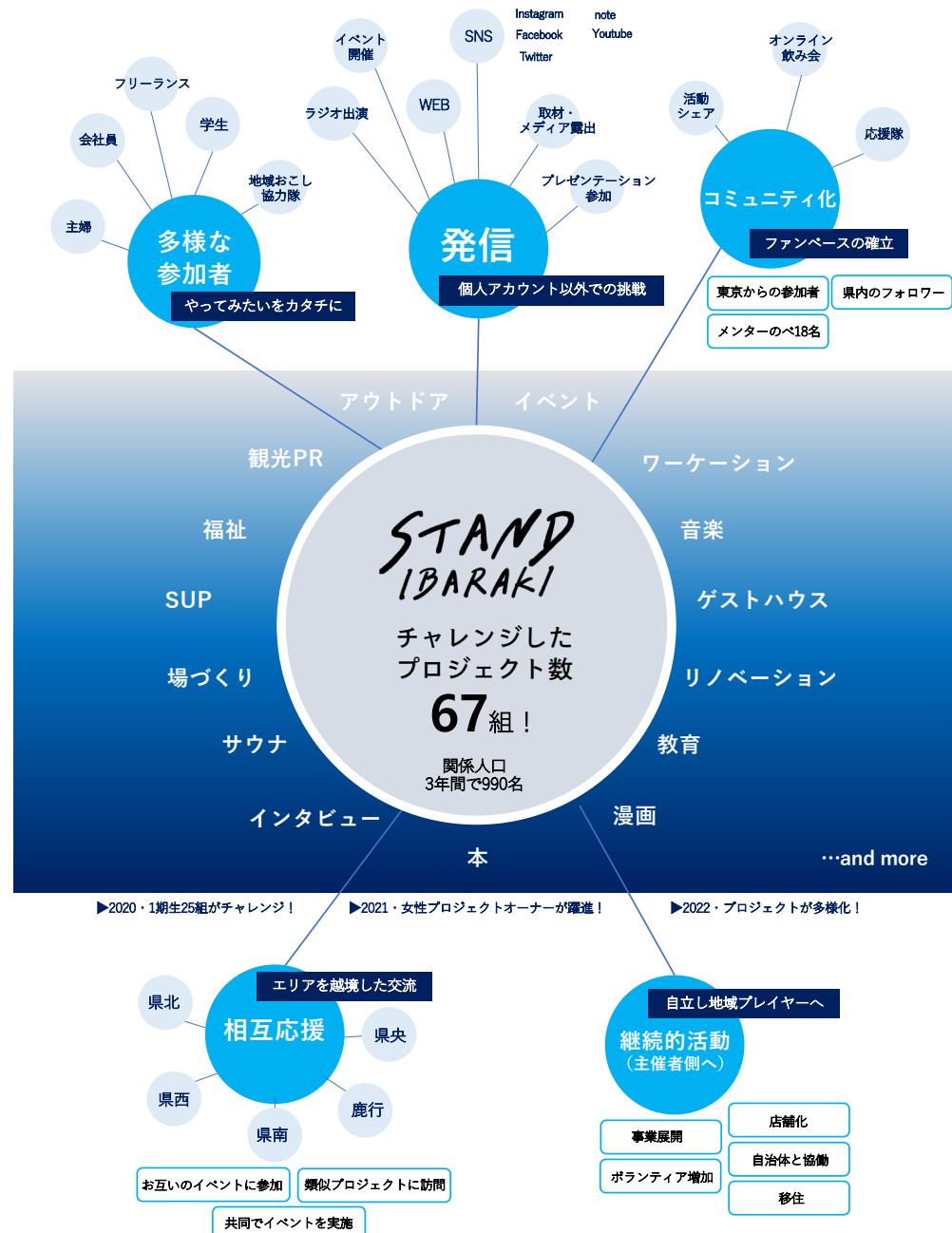
12月

Day 7
最終プレゼンピッチ
・2/11(土) 13:00～17:00
オープニングセッション
／全員による公開プレゼン
／フィードバック
／オーディエンス投票



2月

Day 8
公開作戦会議
・2/23(木) 14:00～17:00
ゲストトークセッション
最終プレゼンで選ばれた3組によるプレゼン
／一般参加者を交えた次回
／アクション公開作戦会議
／STAND IBARAKI 全エントリー者の紹介
／交流会



PLAYER

STAND IBARAKIに参加したプロジェクトオーナーたち



自然とまちと人が つながるかくれ宿 DAIGO SAUNA PROJECT

コミュニティ/イベント

大子町のサウナプロジェクト。サウナ、一棟貸しの古民家宿、地域交流拠点が事業の柱。人が出会う新たな「コト」が生まれ、大子町での体験のハブになる場所を目指す。大子町の行政やプレイヤーと連携しながら企画進行中。

動画／大子町と東京の二拠点生活

NEW
IBARAKI
賞

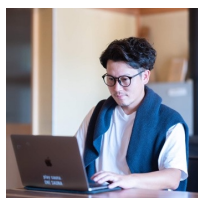


ローカルプロジェクトの意義：
強い想いがあるからこそ、地域で活躍できる

茨城でなにかやりたい、と考えていたとき、東京で開催されていたSTAND TOKYOに出会い、今回の参加に繋がっています。僕の場合、プロジェクトは儲けを考えて始めるよりも、『自分のやりたいこと』から始まり、そこに収益性や社会性を上げていきたいタイプ。STAND IBARAKIのメンバーさんたちも、僕と似た流れで事業を始めた人が多い印象でした。だから、地方や経済規模の小さいエリアでどうやって事業をつくるかを聞けたのは大きかったです。僕自身も実践してみ、プロジェクトを続けられる感触を得られました。

NEW IBARAKI賞

メンター＆最終プレゼンテーションのオーディエンスの総合評価



プロジェクトオーナー

和田 真寛さん

水戸市出身、東京在住。古民家再生コンサルティング業を営む。現在、家族で東京と大子町との二拠点生活を実践中。自分らしく生きたい、東京とは違う価値観が欲しい、という想いが本プロジェクトに繋がっている。



LOC SUP ITAKO

アウトドア/イベント

潮来市の地域資源「水辺」を舞台にしたプロジェクト。SUPで水辺を巡る企画を皮切りに、水辺から街へ、潮来から鹿行地域、茨城全域へと展開を計画中。「水辺のある風景を日常に」というビジョンを掲げる。

<https://loc-sup.com/>

STAND
IBARAKI
賞



長く継続するために：
小さな積み重ねが、街の景色を作る

常に気を張っている東京と、リラックスした素の自分で行かれる潮来。それぞれで頑張るほど、どちらにもいい影響を与えていました。潮来で挑戦するとき、会社のブランドも通用しないし、家族からも間近で見られます。だからこそ自分の純粋な人間性で勝負できる。それがモチベーションに繋がりましたし、自己肯定感にも繋がりました。

STAND IBARAKI賞

STAND IBARAKI中のプロセスとファン獲得が面白い賞



プロジェクトオーナー

横地 綾人さん

東京都出身。コンサルタント。潮来市で暮らし、高速バスで都内の企業に通う。その距離往復200km。東京だけの人間で終わりがたくな。地域プレイヤーとして潮来を盛り上げたい。そんな想いを抱きプログラムに参加。



まちをつくるアパート Co-mito

コミュニティ/シェア

茨城大学近隣にある、実家とその店舗、隣接する大越さん所有の遊休不動産を活用し、自分の課題と地域課題解決を目指す。単にアパート入居者を増やすのではなく、大越さんと理想の暮らしを語れる仲間を増やしてゆく。

https://www.instagram.com/ibarak_i_omuraisui/

オーディエンス賞



どのように継続するか：
人や街の想いととも、自分も変化してゆく

アパート運営では、満室を保つのは重要です。でも、それ自体を目標にすると、僕の根本的な想いからずれてしまったんです。収益だけを意識したら、物件の建て替えや、有料駐車場にすることも考えられます。でも僕は、人の繋がりが地域への想いを大切にしながら、僕自身が居心地よく暮らせる場所にしたいんです。それに、そんなアパートだったら僕がやる意味があると思います。だからまず、自分自身が幸せな暮らしを実践し、体現し、周りの人に『僕の幸せに付き合ってもらおう』ことを目指しました。

オーディエンス賞

2月最終プレゼンテーション当日の会場参加者の投票



プロジェクトオーナー

大越 瑞生さん

水戸市出身。理学療法士、出張料理人、アパートの大家。イベント企画や地域活動も実践。暮らしの中で自分の幸せをストイックに求め続ける。家業の化粧品店とアパートの課題に直面したことからプロジェクトを考案。

CONNECT

STAND IBARAKIに参加したプレイヤーを応援したい！
一緒に活動してみたいという方は以下のいずれかのアクションを！

1 プレイヤーに直接連絡する

Click me!

3 茨城県の取り組みをフォローする

Re:BARAKIで検索

2 調べてイベントに参加する

プロジェクト名で検索

4 茨城県に問い合わせる



いばらき移住・
二地域居住推進協議会
茨城県 政策企画部
計画推進課 移住推進G
TEL 029-301-2536

STAND
IBARAKI



板谷 隼
本と〇〇。
-本がある場づくり-

水戸市

コミュニティ/イベント

水戸市特塚にある住み開きシェアハウス“はちとご”を拠点に、本のある“立ち寄れる場所”を生み、人が出会い学びが生まれる場づくりにトライします。本や本棚に触媒に、偶然との出会いや学びのある場の創出にトライします。自分や周りの人の暮らしが“開く”きっかけにしたいです。

<https://www.instagram.com/hachitogo85/>



宇田川 大介
下館京師会
市街地魅力向上・発信プロジェクト

下妻市

コミュニティ/イベント

「UPDATE SHIMODATE」と「下館の輸出」を活動の二本柱として活動しています。公共スペースの整備活動を通して下館の地域魅力を向上させつつ、発信もすることで「地元も、世界も。あっと驚く下館に。」を実現させ、関係交流人口とシビックプライド向上を目指します。

<https://www.facebook.com/shimodateoshi>



蛸名 雄太郎
NEW 310
学生×地域のハコ良しプロジェクト

水戸市

教育/コミュニティ

撮影スタジオ付きコワーキングスペースを拠点に、学生と社会人が交流できるイベントを開催しています。アイデアをブラッシュアップし、コアメンバーを集め、その過程において共感者やファンを増やし、資金も獲得したい。そのためのさらなるアイデアやノウハウ等を見聞したいです。

<https://coworking310.com>



大森 湧太
アウトドアベース
大子

大子町

アウトドア/イベント

大子町で体験可能なアウトドアコンテンツを考案していきます。「アウトドアしたいけど、道具を持ってない」「大子町まで道具を持っていくのが大変」「アクティビティ体験の予約方法が分からない」上記の悩みを解決できる、モトクロス体験やサイクリングツアーなどのサービスを提供予定です！

<https://outdoor-base-daigo.com/>



岡崎 佑汰
ヒカリノイロドリ

水戸市

教育/コミュニティ

自分が経験した苦い体験から、学生のうちに挑戦しやすい環境が必要と実感しました。「学生と地域を繋ぐ」「学生が何かを始める時の支援を行う」事で学生の「やりたい」を実現します。また、「やりたい」を見つめるお手伝いをします。学生というヒカリにイロドリを加えていきます。

<https://www.hikarinoirodori.jp>



ポン子
漫画書簡
-Manga Letter-

八千代町

インクルーシブ/SNS

コロナ禍の今、入院・入所している方と会えるのはモット面会くらい。終わった後、互いにもっと寂しくなりそう。そこで、漫画でコミュニケーションを図ってみたいところ思わぬ反応が得られました。見返して何度も温かい気持ちになれる「漫画書簡」のエピソードと差別性を固めていきます。

<https://www.instagram.com/mangaletter/>



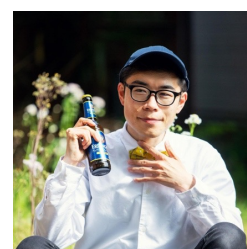
織原 大
オリオリ人生
サポート

水戸市

インクルーシブ/コミュニティ

制度の網から漏れてしまった「生活に困っている高齢者（家族も含め）への支援」「関係者との連携強化」を行うため、無料福祉相談会を開催しています。これからは、つながりを作り、地域との輪を広げていきたいです。その方法について、いろいろ考え、話をし、実践していきたいです。

<https://note.com/oriori05010327>



佐野 匠
たのしごとうれしごと
人とストーリーへの共感から始まるお仕事プロジェクト

つくば市

SNS/コミュニティ

茨城県内の熱い仕事のことをいっぴい聞けるラジオをはじめます。合言葉は「仕事だからしょうがない」。ストーリーへの共感から仕事に関わり、仕事と称して楽しく茨城で遊びながら、作り手が楽しい仕事、依頼主が嬉しい仕事に取り組みます。楽しい仕事を一緒に作るメンバー募集中です。

https://note.com/tanoure_shi_goto/



草柳 ちよ子
やちよまち
仮想鉄道

八千代町

コミュニティ/イベント

移住ソムリエ®です。地域を行き交う人の流れを創りたく八千代町の地域おこし協力隊員でにぎわい創出を担当しています。町内の飲食店の一角を間借りして、子どもたちにアート体験を提供します。地域を超えて繋がりを未来への継承と資源活用をテーマに相互交流できる駅を創ります。

<https://note.com/kusayanagi>



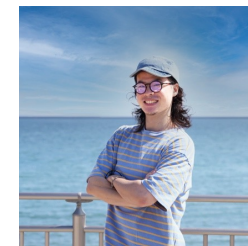
渋谷 直樹
音楽フェスを
日常にする

八千代町

イベント/クリエイティブ

音楽フェスを日常に根付かせる為、マルシェ要素やメタバース活用を取り入れた可能性を模索していきたくです。故郷の八千代町の若者の人口離れを課題と捉え、エンターテインメントを通して町外から人を巻き込んでいきます。9月に第一回イベント「やちよまち2022」を開催し好評を得ました！

<https://sites.google.com/view/ya-chion>



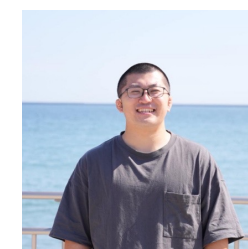
齊藤 佑飛
ノーブラン イバラキ

県外

SNS/コミュニティ

地元の人の声をベースに、朝ごはんから宿まで1日滞在できる情報をデザインする「旅のテンプレート」を作成し、ノーブランでも茨城を満喫できるコンテンツを発信します！地元の人々の日常にあるようなローカルなお店に行ってみよう。妥協ではない安定の「とりあえず茨城！」を作り出したいです。

<https://www.instagram.com/engelaart/>



高崎 誠
『縁・芸』
プロジェクト

笠間市

インクルーシブ/クリエイティブ

障害との垣根を無くしたい。障害福祉業界はコロナによって地域との交流が激減してしまいました。そこで、アーティストと福祉施設等のマッチングを行い、障害のある方とアーティストと一緒に新しい何かを生み出します。誰かにとって素敵な縁を作り出していきたい！『縁芸士』になります！

<https://www.instagram.com/engelaart/>



STAND
IBARAKI



中川 元
共鳴塾

つくば市

教育／コミュニティ

世の中の理不尽に振り回されることなく、自身の持っている原体験を基に、創造性を発揮出来る仕組みを創出したいです。先行き不透明なこの時代に、どうしたら幸せに暮らせるかを一緒に考えてくれる人を募集しています。キーワードは、心理的安全性、カオス、アクティブラーニング。



橋本 理沙
森と未来の学校

水戸市

教育／イベント

茨城を教育旅行の聖地にしたい！日本の修学旅行の形は30年以上変わっていません。時代に合った学びが得られる旅を提供していきます。本気の大人の熱に触れ、生徒たちの人生の選択肢になるといいなと考えています。活動は、茨城が抱える社会課題を学べるコンテンツの開発、旅の企画・実施が主です。

<https://note.com/morimirai>



ホンモト ツヨシ
ゆるいば

水戸市

SNS／コミュニティ

いばらきの「ゆるい くらし」をテーマに茨城の美味しいものや気になったものをインスタグラムで発信していきます。楽しいことだけに集中して、誰よりも茨城を楽しんでいます。

https://www.instagram.com/yuru_iba/



2021
MVP

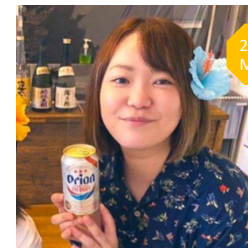
新妻 幹生
IBAABI (イバアビ)

水戸市
日立市

SNS／コミュニティ

県北地域を舞台に活動。PRを必要とする個人や事業者と、取材・発信を行う人材をマッチングし、県北地域の発信力の最大化を狙う。現在、発信を担う人材としてクリエイターを育成しつつ、官民協働で発信力強化を進めている。

<https://hitacheer.com/posts/ldf0okkt>

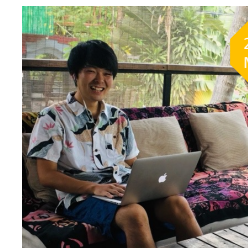


2021
MVP

篠崎 桃子
立ちより居酒屋
ゲストハウス編湊
コミュニティ／イベント

ひたちなか市

出張スタイルの居酒屋と、ひたちなかの港町にあるゲストハウスで、週末の観光客向けに泊まれる居酒屋イベントを開催。茨城への旅の目的を作り、関係人口を創出する。茨城の豊富な食の恵を活かし、食に愛着を持つ人を増やし、理想的な食の循環を作りたいという着想を得る。



2021
MVP

平間 一輝
いばらき
ワーケーション

県央

イベント／コミュニティ

茨城には、誰かに自慢できる観光スポットは無いが、誰かに誇れる豊かな暮らしがある。そんな「ありのままのいばらき」を伝える「観光以上移住未満」をコンセプトとしたワーケーション誘致策を企画。現在、水戸市、ひたちなか市、大洗町を中心に活動中。

STAND IBARAKI
2020~2021



2021
MVP

葦原 亜由美
OURroom

大洗町

シェア／コミュニティ

「いつもの居場所がふたつある暮らし」をコンセプトにした、二地域居住特化型タイムシェアリング別荘を提供。コンテナハウスを使い、来街者と地域住民との交流のきっかけを作り、両者が地域への愛着を深める機会を創出する。

<https://www.ourroom-ourai.com/>



2021
MVP

阿部 深雪
banya base

常陸太田市

リノベーション／コミュニティ

鯨が丘商店街の板谷坂沿いに建つ眺めの良い物件「banya base」を活用。「心地良いモノ・コト」に出会える場所」をコンセプトに様々なイベントを企画。地域のファンを増やしながら、「板谷坂の散財ストリート化」を狙う。

<https://banyabasecraft.stores.jp>



2020
MVP

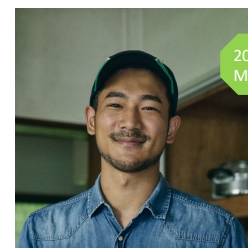
石井 翔太郎
大洗カオス

大洗町

イベント／コミュニティ

「大洗独自の良さを活かした海の街（大洗）をデザインする」を軸に、文化と文化が交わるをミッションに活動しているチーム。2019年の「if design project」にて海チームとして結成され、以降活動を続けてきた。大洗で実現したい「妄想」を募集し、実現させる活動をしている。

https://www.instagram.com/ourai_chaos/



2020
MVP

原部 直輝
八郷留学

石岡市

アウトドア／コミュニティ

「暮らしも遊びも物語も、作るのは全部きみだ」がテーマ。小学生が親元を離れて八郷地区の古民家に滞在し、豊かな自然と共に暮らすを体験しながら、生きる力を身につけていく。地域の強みである里山を保全・活用すること、体験による学びを提供することの2つを事業の社会的意義と位置付ける。

<https://www.kyasatoryugaku.com/>



2020
MVP

小池 伸明
イバフォルニア・ベース

ひたちなか市

イベント／コミュニティ

「100年先も豊かに暮らせる海(街)をつくること。」を目標に、海と共に暮らすライフスタイルを提案。ビーチマーケットや海のごみ拾いの開催、コミュニティスペース運営を通じ、阿字ヶ浦でチャレンジしたい人を支えてきた。運営のコアからイベントのお手伝いまで、無理のない熱量で多くの人が活動に参加している。

<https://ibaformia-project.jimdosite.com/>



PROJECT 2022

茨城に参加するためのプロジェクトの入口

茨城への関わり方提案コンセプト

JOIN US IBARAKI

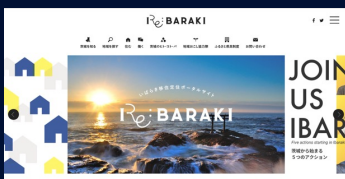


2022年度より全体制をリニューアル。これまでの関係人口・移住プロジェクトの想いをそのままに、プロジェクトを整理しながら、より時代に合った関わりしるを生み出しています。アクティブに動いている全体把握のページとしてご活用ください！

担当:ETIC.

茨城の移住定住事業を発信

Re:BARAKI



2018年度より茨城県の移住定住ポータルサイトをリニューアル。県内で小さな挑戦をしている人にフォーカスを当てたインタビュー記事「ヒト・コト・バ」や、各プロジェクトのイベント情報、アーカイブなど情報が満載。もちろん茨城県内の自治体の基礎情報や移住支援金の情報なども網羅している。自治体セミナー情報も更新されるので、定期的にご覧になってください！

担当:インクデザイン

仕事でつながる想い

iBARAKICK!



県内の新たな挑戦を行いたい経営者と経営者の力になりたい副業人材がタッグを組み新規事業に挑戦。

【参加者の声】

本業やプライベートでは出会えないような人達と一緒に、何か目的を持って議論し考えることが本当に刺激的でした。ただ自分のスキルを役に立てて、それを報酬としてもらう普通の仕事の関係とは違うところが非常に楽しいです。



担当:ETIC.

茨城のライフスタイルを発信

ちよいなかStyle



ちよいなかStyle
いばらき 移住

茨城県内での暮らし方をキーワード化し、さまざまなライフスタイルを紹介するサイト。物件情報のリンクもあり、イメージから茨城への暮らしを探せるようになっていました。自治体と連携した細やかな暮らしの情報から近いものを選んでみませんか。

担当:インクデザイン

県内でのアクションで人を呼ぶ

STAND IBARAKI



STAND
IBARAKI

茨城でチャレンジしたい！という方が、「自らが設定したプロジェクト」のプロトタイプを実践する7ヶ月のプログラム。

【参加者の声】

茨城でなにかやりたい！と思ってもどこからはじめれば…という私にとって、講義やメンターへの相談があったのは嬉しかったです。何より想いを言語化して、SNSで発信したりイベントを主催できたのはいい経験でした！成長できましたし、県内のつながりができたのもとても貴重です！

担当:茨城移住計画

東京圏ー茨城への接点づくり

STAND TOKYO



STAND
ー茨城とつながる日常ー
'TOKYO'

県外在住の方でも、気軽に茨城に触れられるイベントを年間12回開催。

【参加者の声】

・移住のイベント！と堅苦しい雰囲気ではなく、茨城と縁がなくてもテーマ設定やゲストのお話がとても面白かったです。
・茨城出身でしたが、大学進学から地元を離れていて、最近の情報がわからない状況。そんななか、同世代が活躍していることを知って刺激的でした！



担当:はじまり商店街

隊員同士のコミュニティづくり

地域おこし協力隊



隊員同士のコミュニティづくりを支援し、継続的な活動をサポートするプログラムです。

【参加者の声】

はじめて地域おこし協力隊になり、知らない地で一人心細かったですが、研修で仲間ができて、3年間の道筋を立てることができるようになりました！

担当:ETIC.

県内コーディネーター人材を育成

IBARAKI NET



県内の新たな挑戦を育むために経営者と共にプロジェクトを組成し、ヒトやモノをつなぐコーディネーター人材を育成するプログラム。

【参加者の声】

地域でビジネスとコミュニティを両立させる考え方とお作法を学べました！

担当:ETIC.

TEAM



茨城県
NPO法人ETIC.
株式会社はじまり商店街
茨城移住計画
株式会社えばっく
インクデザイン株式会社

PLATFORM

茨城県の関係人口プロジェクトの歴史

解題解決型 デザインプログラム



if design project

if design project
参加者：87名
移住/二拠点居住者：10名



東京での コミュニティ形成

STAND
TOKYO
茨城の関係人口
プラットフォーム

STAND



イベント開催数52回

JOIN US IBARAKI



全体リニューアル

副業



iBARAKICK!



茨城とつながる

STAND TOKYO

STAND
— 茨城とつながる日常 —
'TOKYO'
2022.4～



2018.4～

2019.4～

2020.4～

2021.4～

関係人口プロジェクトSTART

2022.4～

2023.4～

FUTURE▶

Re:BARAKI



ヒトコトバ〜2022
▼掲載記事数94本

移住
ポータルサイト



人材育成

チャレンジ

※STAND IBARAKI 2019～2021

STAND
IBARAKI
茨城の関係人口
プラットフォーム



プロジェクトオーナー46組



Camp in



企業合宿誘致
参加企業数:8社

STAND
IBARAKI

STAND IBARAKI



個人活動を
プロジェクトへ

地域おこし協力隊研修



育成

コーディネーター育成講座

